

新型コロナウイルス対策に関する意見書

全国的に新型コロナウイルス感染患者が後を絶たない状況が続いている。

そのような中、8月4日の段階で、東京都内の状況は東京都福祉保健局の発表によると、陽性患者数の累計は14,022人である。

各市に対して東京都から発表される、陽性患者数は、累計及び入院・療養中、退院者数等の人数のみで、検査結果からは、年代別、性別、感染経路等の判別ができない状況になっている。特に7月中の急激な数値の増加は、市民の皆様からも不安の声が上がっており、検査受診の段階で受診者数を公開していただき、早期に状況の把握ができる体制を要望したい。また、多摩地区の各市において単独で保健所を設置しているのは2市（八王子市及び町田市）のみと、技術面や費用面で設置できない課題を抱えている実態があるので、東京都において適切な情報提供を望むものである。

あわせて、新型コロナウイルス感染症の対応に伴う地方財政の急激な悪化の中で、各市が独自のPCR検査を行う場合に、単独の一般財源を用いて行っている現状がある。このことについても、早期に東京都からの財政支援をお願いしたい。

については、東京都市議会議長会は、東京都に対し、市民の安心・安全を守るため、下記の事項について取り組むよう強く要望するものである。

記

- 1 各市に対して陽性患者数と検査対象者数について、早期に詳細な情報提供を行うこと。
- 2 各市のPCR検査等の体制に応じた財政支援の拡充を図ること。

令和2年8月31日

東京都知事 小池 百合子 殿

東京都市議会議長会会長
小平市議会議長 磯山 亮